

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		青少年育成		款	4	項	2	目	1	事業	4	整理番号	249		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	青少年係		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	353		枝番号		
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備		予算事業区分											
事業開始		昭和	▼	29年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業		
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区青少年表彰要領 (2) 杉並区青少年育成委員会補助金交付要綱								
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		善い行いをした区内在住、在勤、在学の25歳未満の青少年、及び地域の青少年健全育成団体		活動指標名(式)		(1) 表彰者数 (2) 育成委員数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		善い行いをした青少年及び主にそれらで構成された団体を表彰して区内全体に善意の行為の気運を盛り上げる。育成委員会が行う事業を通して子ども達が健やかに育つ環境をつくる。		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) (代) 区内非行件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		善い行いをした青少年を表彰をする。青少年健全育成団体に対し補助金及び助成金を支出する。												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度				
指標	活動指標(1)		人・団体	47	100	62	100	112	130	200	56.0	112.0			
	活動指標(2)		人	907	907	907	921	915	920	920	99.5	99.3			
	成果指標(1)		件	307	291	268	241	219	197	197	111.2	90.9			
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	20,100	17,970	18,481	18,256	18,145	17,262	20年度予算執行率% 99.4					
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項					
	(内)委託費		千円	0	0	0	354	296	335						
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.09 0.00	1.00 0.00	0.95 1.80	1.60 0.00	1.60 0.00	1.60 0.00						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	9,875	9,140	8,683	14,480	14,480	14,480					
		(内)非常勤職員分		千円	0	0	4,986	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	29,975	27,110	32,150	32,736	32,625	31,742						
	単位あたりコスト (-)÷		円	637,766	271,100	518,548	327,360	291,295	244,169						
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		千円	/	/	/								
その他の補助金等		千円	/	/	/										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源 -		千円	29,975	27,110	32,150	32,736	32,625	31,742							
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 249

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		表彰式の実施	2	回	1,027
		青少年育成委員会助成	17	団体	15,300
		ボーイ・ガールスカウト共催事業	17	回	314
		その他 ()			1,504
(2)事業実績	青少年表彰については、順調に受賞者が増え、広く青少年表彰の目的が浸透してきています。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	青少年の学校内外におけるボランティア活動などが、豊かな人間性、社会性を養うため必要であるとの認識が高まっています。また、平成18年度より都立高校で奉仕の時間が授業に取り入れられます。少子化となり、育成事業の対象者が小学生となり、中学生対象の事業参加者が少なくなっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	育成事業について、様々な団体で実施して重複しています。地域の希薄化が進むなら、地域の育成団体を事業を実施することにより、地域の連帯が強められました。
	今後の予測	青少年表彰については、今後も受賞者が増えて、大きな会場で実施する必要があります。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容	
		各育成団体の事業には多くの参加者があり、子どもが様々な体験をし、社会性を身につける機会になっています。善行の表彰を広く社会に知らせることにより、善意の気運が高まり、子どもが健やかに成長する環境づくりにつながっています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	これまで以上に地域や子どものニーズに的確に対応した事業内容になるよう働きかけ、より多くの子どもが参加できるよう事業の広報などを工夫しています。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	育成委員会の活動はボランティアである。また、青少年表彰は区が表彰するものであり、受益者負担にはなりません。	
(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	育成事業については、補助金のみを財源として運営するのではなく、参加費を取るなど参加者に応分の負担を求めたり、自主財源の確保に努めるよう働きかけます。		

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	育成委員会は、特色のある事業を実施しているが、今後事業の見直しや、中学生対象事業の検討が課題となっています。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	青少年表彰については、受賞者が常に増え、広く善意の気運が高まっています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	青少年表彰の受賞者と共に、善行内容を広く広報へ掲載していきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	広報は紙面が限られているため、調整が必要です。		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	青少年表彰を大きな会場で実施するため、会場使用料等を計上します。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	青少年の自立応援・社会参加事業				款	4	項	2	目	1	事業	5	整理番号	250					
担当部課名	保健福祉部児童青少年課				係名	青少年係				連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	354		枝番号			
上位施策No・施策名	28 子どもの育成環境の整備												予算事業区分						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	25	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	2	事業コード	13	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				区内在住・在学・在勤の中学生から24歳までの青少年		根拠法令等		(1) 「成人祝賀のつどい」実施要綱 (2) ユースプロジェクトすぎなみ設置要綱									
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	青少年が自立し、社会の一員としての自覚を持ち、自身の力を発揮し健やかに成長する。				活動指標名(式)		(1) 成人祝賀のつどい出席者数 (2) 自立支援事業開催数											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	青少年を対象にした、自立を支援する講座等を開催する。また、区の青少年施策について意見を述べる。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1) (代)出席者数/対象者数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等											
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%						
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度						
指標	活動指標(1)		人	2,518	2,413	2,563	2,276	2,524	2,124	0		110.9							
	活動指標(2)		回	8	8	7	7	4	4	4	100.0	57.1							
	成果指標(1)		%	44	46	49	50	50	50	0		100.0							
	成果指標(2)																		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	16,388	17,673	14,277	17,535	15,068	14,551	20年度予算執行率%		85.9							
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項									
	(内)委託費		千円	0	0	0	11,791	10,577	8,715										
	職員数(常勤 非常勤)		人	2.01 0.00	1.65 0.50	2.31 0.90	2.00 0.90	2.00 0.90	2.00 0.90										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	18,211	15,081	21,113	18,100	18,100	18,100										
		(内)非常勤職員分	千円	0	1,385	2,493	2,520	2,520	2,520										
	総事業費 + +		千円	34,599	34,139	37,883	38,155	35,688	35,171										
	単位あたりコスト (-)÷		円	13,741	14,148	14,781	16,764	14,139	16,559										
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0									
		都からの補助金等		千円	/	/	/												
その他の補助金等		千円	/	/	/														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0											
差引:一般財源 -		千円	34,599	34,139	37,883	38,155	35,688	35,171											
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 250

20年度 の事業 実施 状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			成人祝賀のつどいの実施	1	回
		広報誌「にゅーす」の発行	1	回	281
		青少年情報誌セドル8号の編集委員会運営・印刷	6000	部	2,248
		ジョブ・スタート支援講座(仕事や将来について考える講座)	4	講座	839
		その他()			5,433
	(2)事業実績	成人祝賀のつどいについては、参加者全員が入場できるよう昨年度より、3回公演を実施してきて、スムーズな運営となったが、立ち見となる回数が出てしまいました。			

事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ニート、フリーターの増加が社会問題となっています。成人祝賀のつどいの対象者は、減少の傾向にある。H10 7,589人 H15 6,061人 H19 5,200人 H20 5,049人が、参加率は増えてきています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区の青少年施策の意見表明をしたが、具体的な事業を実施することに、期待されています。
	今後の予測	青少年の自立応援、社会参加は益々主要が大きくなるが、ニート、フリーターとなる前の対策が求められています。

事業のあり 方点検	左の理由または具体的内容
(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	青少年が自立を促すことは、子どもの健やかな成長につながり、中高生が区の青少年施策に意見を述べるなど、子ども自身が子どもの育つ環境をよりよくなります。
(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	多くの青少年が事業に参加できるよう、周知方法を工夫します。
(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	経済的な理由で参加ができないなどの青少年をつくらないようにするため受益者負担はなします。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	委託費用の内訳は、講師謝礼等の最低限の費用です。

協働等 点検	(2)協働等の相手	(3)協働等の形態	(4)協働等の今後のあり方
(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	協働[委託]	実施継続

評価と課題	各育成委員会は、工夫をしてより良い事業実施を推進しているが、育成団体により事業内容の格差が出ています。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	コスト: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ジョブスタート支援講座の参加者を増やすため、チラシによる全校配布の他に、学校等の連携による周知をします。		
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 教育現場への協働事業については、なかなか難しいが、趣旨説明を協力してくれる学校から進めます。		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ● 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし	
	(2)理由	21年度成人祝賀のつどいについては、プロポーザルにより実施するが、予算が低く事業提案内容が少ないため、予算増が必要です。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童青少年センター・児童館事業の運営						款	4	項	2	目	1	事業	31	整理番号	276		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課						係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	355		枝番号	
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備						予算事業区分											
事業開始		昭和	▼	41	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	3	事業コード	16	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input checked="" type="checkbox"/> その他		<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則						
	児童青少年センター・児童館・学童クラブ、18歳未満の児童及び保護者、センター及び児童館職員、地域住民の団体		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						活動指標名(式)										
	センター、児童館事業の充実を図り利用者の健全な育成を助長する。 中高生の意見等を反映させたセンター運営を図ります。 児童館運営に必要な人材(非常勤職員)を確保し、充実した事業展開が図れるようにする。 センター及び児童館職員の資質を向上させる。		(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館)						(2) 開館日数(センター及び児童館)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						成果指標名(1) 一日あたり平均利用者数 算定式・指標の説明等 利用者数 ÷ 開館日数 成果指標名(2) 職員実技研修参加者数 算定式・指標の説明等										
事業運営に必要な事務用品、物品などの購入・支出事務 事業運営(学童クラブ含む)のための非常勤職員の採用・報酬の支払い事務 センター及び児童館職員の研修、物品貸出、事故対応(傷害保険等)		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						成果指標名(1) 一日あたり平均利用者数 算定式・指標の説明等 利用者数 ÷ 開館日数 成果指標名(2) 職員実技研修参加者数 算定式・指標の説明等											
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%						
			実績		計画		実績		計画		実績		22年度						
指標	活動指標(1)		人	1,421,329	1,430,000	1,412,164	1,430,000	1,404,762	1,430,000	1,430,000	1,430,000	98.2	98.2						
	活動指標(2)		日	13,822	13,917	13,878	13,917	13,905	13,917	13,917	13,917	99.9	99.9						
	成果指標(1)		人	103	105	102	105	100	105	105	105	95.2	95.2						
	成果指標(2)		人	495	500	585	590	622	590	590	590	105.4	105.4						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	233,661	284,838	259,828	312,282	275,692	309,019	20年度予算執行率%			88.3						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費		千円	21	21	21	363	330	400	学童クラブパート雇用人数推移 18年度 102人 19年度 116人 20年度 114人 21年度 121人(4月当初)									
	職員数(常勤 非常勤)		人	52.05 21.49	51.25 19.88	29.36 0.50	27.54 0.50	29.20 0.50	28.12 0.50										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	471,573	468,425	268,350	249,237	264,260	254,486										
		(内)非常勤職員分	千円	60,817	55,068	1,385	1,400	1,400	1,400										
	総事業費 + +		千円	766,051	808,331	529,563	562,919	541,352	564,905										
	単位あたりコスト (-) ÷		円	539	565	375	394	385	395										
	財源	受益者負担分		千円	4,584	3,968	4,461	0	0	0									
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0									
		都からの補助金等		千円															
その他の補助金等		千円																	
特定財源計 + + +		千円	4,584	3,968	4,461	0	0	0											
差引:一般財源 -		千円	761,467	804,363	525,102	562,919	541,352	564,905											
受益者負担比率 ÷		%	0.6	0.5	0.8	0.0	0.0	0.0											

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 276

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		パートタイマー報酬	139	人	213,310
		臨時職員賃金	366	人	33,848
		運営事務費(消耗品購入、機械器材借上げ等)	41	施設	23,569
		保険料	51	施設	4,965
その他()			0		

(2)事業実績
非常勤職員の採用にあたっては、区HPや区内教育機関等に募集記事の掲示依頼をするなど、多くの優秀な応募者の確保に努めました。
また、職員の質の向上を図るための児童青少年センター及び児童館職員の研修を実施しました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。また、平成17年度から実施した学童クラブの登録制により、非常勤職員の配置数が大幅に増加しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	児童青少年センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せがあり、各方面から注目されています。 児童館は障害児の利用しやすい環境整備が求められています。
	今後の予測	子どもたちの安全な居場所確保の重要性は増えています。ゆう杉並は、支援が必要な中高生の居場所としての機能も求められてきています。 学童クラブ対応の非常勤職員経費の増加が見込まれます。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要です。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高くなっています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	今後も学童クラブ入会希望者が継続して増加すると予測され、パート職員の配置等、予算増が必須です。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切と考えます。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	人件費については、優秀な非常勤職員を必要人数確保するため下げることができません。運営費については、消耗品費の価格の上昇が見込まれるため、コストを下げると現在の水準を維持できません。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	児童館事業の運営にあたっては、職員一人ひとりの企画力・児童への対応能力などの力量が重要な要素です。そのために研修体系の見直しを行い資質の向上を図って行く必要があります。 また、全職員に占める非常勤職員の割合も高くなってきていますので優秀な人材の確保が課題となっています。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 非常勤職員の採用に当たって、区のHPをはじめ他の媒体(児童健全育成財団等)も活用して募集したり、区内教育機関に募集記事の掲示依頼をする等確保に努めました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 児童館事業の中で、学童クラブ事業の占める割合が急増しているため、それぞれの事業の位置づけを含めた児童館のあり方を検討しています。多くの媒体を活用して、事業運営に必要な人材(非常勤職員)の確保を図っていきます。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校を含めた関係機関との調整が必要です。		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 来年度も学童クラブ入会希望者が増加すると予測され、パートタイマー等非常勤職員の配置増が見込まれています。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		学童クラブ事業			款	4	項	2	目	1	事業	32	整理番号	277		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	356 枝番号		
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備			予算事業区分											
事業開始		昭和	▼	39年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	4	事業コード	18	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 児童福祉法第6条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例								
	親が共働きなどで留守家庭となる区内在住・在学の小学一年生から四年生までの児童及び六年生までの特別支援児童		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)											
	子どもたちがともに育つ中で、自らの可能性を發揮し、健やかに成長するよう支援します。学童クラブを利用している保護者が安心して楽しく子育てができるよう支援します。		活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
	共働き等により保護者が留守となる家庭の児童に対して、一人ひとりが尊重され、安心して安全に過ごせる居場所を学童クラブで提供する。		成果指標名(1)		入会希望児童の入会率											
		算定式・指標の説明等		入会児童数 ÷ 入会児童申請数												
		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等												
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%			
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度					
指標	活動指標(1)		人	2,763	2,952	2,968	3,159	2,978	3,076	3,389	87.9	94.3				
	活動指標(2)		人	98	114	124	112	130	135	142	91.5	116.1				
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0				
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	68,078	80,886	74,620	95,770	84,283	151,255	20年度予算執行率% 88.0						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項						
	(内)委託費		千円	47,931	52,123	47,526	62,489	55,342	117,208	4月1日現在学童クラブ待機児童数						
	職員数(常勤 非常勤)		人	87.00 15.00	88.00 7.00	82.55 10.00	77.70 12.00	81.28 10.00	78.58 12.00	16年度 28人 17年度 0人 18年度 4人 19年度 14人 20年度 30人 学童クラブパート雇用人数						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	788,220	804,320	754,507	703,185	735,584	711,149	18年度 102人 19年度 116人 20年度 139人 21年度 121人(4月当初)						
		(内)非常勤職員分	千円	42,450	19,390	27,700	33,600	28,000	33,600	予算は、「児童青少年センター・児童館事業の運営」に計上						
	総事業費 + +		千円	898,748	904,596	856,827	832,555	847,867	896,004							
	単位あたりコスト (-) ÷		円	325,280	306,435	288,688	263,550	284,710	291,289							
	財源	受益者負担分		千円	81,605	95,018	86,623	99,699	86,785	93,266						
		国からの補助金等		千円	2,260	2,656	3,341									
		都からの補助金等		千円				3,781	4,303	5,781						
		その他の補助金等		千円												
特定財源計 + + +		千円	83,865	97,674	89,964	103,480	91,088	99,047								
差引:一般財源 -		千円	814,883	806,922	766,863	729,075	756,779	796,957								
受益者負担比率 ÷		%	9.1	10.5	10.1	12.0	10.2	10.4								

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 277

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ委託	2	所	51,440
		民間学童クラブ運営助成	2	所	13,012
		おやつ代助成	756	人	14,746
		その他 ()			5,085

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童数について、ほぼ変化がないにもかかわらず、学童クラブ入会希望者数及び入会者数は増加傾向にあります。このため、第二学童クラブの設置、施設改修による定員増及び学童クラブ登録制を実施しました。入会希望者の多い一部の学童クラブは、施設の規模ぎりぎりの受入状態が続いており、既存の施設を利用した学童クラブの実施が困難になっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護者からは、学校から離れた場所にある学童クラブについては、学校内へ移転して欲しい。職員は子どもたちに丁寧に対応して欲しい。利用時間を延長して欲しいなど、安全・安心面からの要望が多くなっています。
	今後の予測	共働き世帯の増加等により、入会希望児童数は、今後も増加が見込まれます(22年度には、3,100人を超える見込み)。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、学童クラブへの入会希望者は、年々増加傾向にあります。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きくなっています。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	今後も学童クラブ入会希望者は継続して増加することが予測されます。施設整備、パート職員の配置等の予算増が必須です。	
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	入会希望者の多い学童クラブから、第二学童クラブの設置及び施設改修を行い、入会可能児童数を増加させる環境作りが必要となっています。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	コストに見合った利用料のあり方について検討を行い、適正化を図ります。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	学童クラブ運営を段階的に社会福祉法人など民間の運営に委ねていきます。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	学童クラブの入会希望者は年々増加傾向にあり、児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きくなっています。入会需要に応える施設面での整備や安定したクラブ運営のための人材の確保・教育が必要となっています。また、民間委託による協働の推進、民間事業者が設置する学童クラブへの助成についても引き続き実施し、学童クラブ需要に応えていきます。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 増大する学童クラブ需要、より安全・安心な居場所づくりへのニーズに応えるため、第二学童クラブの新設及び児童館内から学校内への移設準備を、それぞれ1か所実施しました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 学童クラブの需要増に伴う待機児解消策として、小学校の余裕教室、児童館など公共施設の有効活用を図るなど、様々な形態を考慮し実施します。また実施にあたっては、放課後子どもプランに基づく放課後子ども教室との連携を含め取り組んでいきます。	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 需要増対策が必要な学童クラブでは、対応小学校の児童数も多く、余裕教室の活用が図れない場合が多くなっています。従来になかった手法の導入や転用可能な区有地等への設置など、新たな対応策を検討する必要があります。	
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由	今年度策定する子ども子育て後期行動計画における目標事業量に対応する具体的な需要増対策を計画化し、実施します。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童健全育成事業			款	4	項	2	目	1	事業	33	整理番号	278				
担当部課名		保健福祉部児童青少年課			係名	児童館運営係			連絡先	4402			電話番号	4402	昨年度	整理番号	357	枝番号
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備												予算事業区分				
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	41	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input checked="" type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等			(1) 児童福祉法1～7、35、40、45条 (2) 杉並区児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		児童館事業を通じ、児童の自主性、社会性、創造性を培い、健やかな成長を支援する。 ゆう杉並の中高生の自由な居場所としての機能をさらに充実させるとともに、中高生が仲間との交流や自主企画事業の実施を通じ、社会適応能力を育める場所とする。					活動指標名(式)					(1) 児童館年間延べ行事参加者数 (2) ゆう杉並の講座・講演会開催回数及び自主企画実施回数					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		児童館は自由利用のほか、定例活動(工作、調理等)や、特別行事(スポーツ大会・遠足・講演会・祭り・キャンプ等)を行っている。 ゆう杉並では、中高生の自由な居場所としての施設面の環境整備や、自主的に事業を企画することへの支援および運営への参画の推進をしている。					成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					成果指標名(1) 行事参加率 算定式・指標の説明等 年間行事参加者数 ÷ 年間児童館利用数 成果指標名(2) ゆう杉並の講座・講演会参加者数及び自主企画参加者数 算定式・指標の説明等					
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する	計画に対する					
			実績		計画		実績		計画		22年度	20年度の	20年度の					
												達成率%	達成率%					
指標	活動指標(1)		人	246,325	250,000	282,183	284,000	278,970	283,000	288,000	96.9	98.2						
	活動指標(2)		回	414	450	441	450	414	450	450	92.0	92.0						
	成果指標(1)		%	38	40	27	28	26	28	30	86.7	92.9						
	成果指標(2)		人	5,347	4,800	6,108	5,000	5,144	5,300	5,500	93.5	102.9						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,361	29,640	27,663	29,571	26,058	30,224	20年度予算執行率% 88.1								
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項								
	(内)委託費		千円	1,539	1,185	1,181	1,255	1,118	1,327									
	職員数(常勤 非常勤)		人	74.92 31.06	76.70 28.72	96.50 67.30	90.64 68.30	94.40 67.30	91.47 68.30									
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	678,775	701,038	882,010	820,292	854,320	827,804									
		(内)非常勤職員分	千円	87,900	79,554	186,421	191,240	188,440	191,240									
	総事業費 + +		千円	795,036	810,232	1,096,094	1,041,103	1,068,818	1,049,268									
	単位あたりコスト (-) ÷		円	3,228	3,241	3,884	3,666	3,831	3,708									
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0								
		国からの補助金等		千円	0	0	0	0	0	0								
		都からの補助金等		千円														
その他の補助金等		千円																
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源 -		千円	795,036	810,232	1,096,094	1,041,103	1,068,818	1,049,268										
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 278

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		児童青少年センター事業	414	回	3,823
		児童館中・高校生事業	72	回	1,092
		児童館事業	10821	回	21,143
		その他()			

(2)事業実績
各児童館で料理・工作・スポーツ・野外活動・宿泊行事・高齢者との交流・伝統行事など、多様で楽しい遊びや活動を行い、様々な人と出会いふれあう機会や豊かな経験の機会を提供しました。障害児利用促進重点館を15館とし、障害児の利用を促進し、交流の多才なプログラムを提供しました。児童青少年センターでは各種講座、自主企画事業、利用者懇談会を実施しました。また、中・高校生運営委員会の活動援助や、支援が必要な中高生への個別対応を行いました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 18歳未満児童数(1月1日現在):昭和61年=98,222人、平成12年=62,023人、平成20年=59,888人 ゆう杉並は平成9年9月開設以来11年間、小学生や幼児親子等を含めた年間利用者総数は5.6~6.7万人前後で推移しています。20年度は、19年度と比較して中学生が9%減り高校生は3%増えました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	子どもの安全を脅かす事件の多発により、保護者の不安感が高まっており、子どもの安全・安心して過ごせる居場所として児童館への評価は高くなっています。児童館での預かりを希望する声もあります。ゆう杉並に対しては「これからも変わらずにずっとあってほしい」「新しい出会いや目標が見つかる」「気持ちを理解してくれる場所」「交通の便が悪い」「今まで知らなかった」等の声が聞かれました。
	今後の予測	問題を抱えている子どもだけでなく、子育てに困難を感じている親への支援がより必要となり、直待や養育困難家庭への対応が求められています。ゆう杉並の中高生にとっての自由な居場所、活動の拠点としての需要は、今後も増していくと思われます。とりわけ、自主グループの育成や自主企画支援の強化をしていく中で、自己実現が可能な施設としての役割が求められている。また、不登校やひきこもり等の個別課題を抱えた対象者への支援では、多様な中・高校生の受け入れが可能な数少ない居場所型の施設としての機能に、その期待が高まるものと予測しています。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 児童の健全育成を目指す児童館事業は、子育て支援、中高生事業等年々充実度を増しています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	現状の事業費でも、事業内容を工夫し成果を向上させることができます。
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	課内研修、担当者会での実践交流による情報交換や、運営マニュアルの活用により、事業内容を見直し、より効果的な内容に改善していきます。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	行事の中で参加者に利益が還元されるものは一部受益者負担を導入しています。利用対象が18歳未満であり、児童館の利用の主体は小学生であることから、今以上の受益者負担は困難です。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	ニーズは多様化、増大しており、一定の事業費が必要です。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(3)へ
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	すでに児童館プログラムの一部は、地域の関係者やNPO、ボランティア、地域の子育て支援グループの協力により実施しています。今後は地域の子どもと子育てを醸成していく観点から、より地域の区民・NPOの参画を進め、協働で児童館を運営していく方向です。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 児童館等のあり方検討会具体化計画に基づき、研修体系の見直しを行いました。作成した児童館運営マニュアルを研修や説明会、職場会で活用し、児童館の事業のレベルアップを図りました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 具体化計画積み残し課題検討を職員参加で実施。地域の子育て支援の拠点としての機能強化 協働等の推進とコーディネート機能の強化。ゆう杉並においては 高校生の利用増及び登録グループ数の増加。個別の課題を抱える中高生支援を関連機関と連携し進めました。	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 学校や地域のさまざまな取り組みとの連携していきます。専用スペースの整備や職員のスキルアップを図ります。1小学校区に1児童館ある利点を活かしたネットワーク拠点として機能強化を図ります。児童館を中心とした子育て支援全体の企画運営のほか、子育てコーディネーターとしての役割を強化します。中高生の情報収集方法の工夫、ホームページを充実など直接的なPRの機会を増やしていきます。		
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理由 各児童館が特色ある運営を行うために、そのサービス対象(乳幼児、障害児、中・高校生)にあわせた施設整備が必要であり、その費用がかかるため。ゆう杉並では各種講座・講習の見直しを進めている一方で、自主企画実現システムの改善により自主企画事業数の増加が見込めるため。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童青少年センター・児童館の維持管理				款	4	項	2	目	2	事業	2	整理番号	284		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課				係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	360		枝番号	
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備				予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	41	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input checked="" type="checkbox"/> 団体		<input checked="" type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則				
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		適切な維持管理等により安全かつ快適に利用できる施設とします。							活動指標名(式)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		施設維持管理における契約事務、履行確認、支払事務 施設運営における事務用物品等経費の執行事務							成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 一日あたり平均利用者数 算定式・指標の説明等 利用者数 ÷ 開館日数 成果指標名(2) 年間修繕件数 算定式・指標の説明等 センター及び児童館							
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%				
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度						
指標	活動指標(1)		人	1,421,329	1,430,000	1,412,164	1,430,000	1,404,762	1,430,000	1,430,000	1,430,000	98.2	98.2				
	活動指標(2)		日	13,822	13,917	13,878	13,917	13,905	13,917	13,917	13,917	99.9	99.9				
	成果指標(1)		人	103	105	115	105	100	105	105	105	95.2	95.2				
	成果指標(2)		件	561	490	400	490	337	490	490	343	98.3	68.8				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	288,069	287,147	275,234	295,907	291,928	275,311	20年度予算執行率%			98.7				
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費		千円	137,896	145,593	145,340	166,959	164,074	154,409	財源の受益者負担分は以下のとおり。							
	職員数(常勤 非常勤)		人	46.70 19.30	46.03 17.86	26.45 4.10	24.88 4.10	26.21 4.10	25.29 4.10	センター・児童館目的外使用料							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	423,102	420,714	241,753	225,164	237,201	228,875	敷地使用料							
		(内)非常勤職員分	千円	54,619	49,472	11,357	11,480	11,480	11,480	光熱水費使用者負担							
	総事業費 + +		千円	765,790	757,333	528,344	532,551	540,609	515,666								
	単位あたりコスト (-) ÷		円	539	530	374	372	385	361								
	財源	受益者負担分		千円	292	1,159	1,137	5,328	6,765	4,977							
		国からの補助金等		千円	2,010	0	1,181	0	0	0							
都からの補助金等		千円				0	0	0									
その他の補助金等		千円				0	0	0									
特定財源計 + + +		千円	2,302	1,159	2,318	5,328	6,765	4,977									
差引:一般財源 -		千円	763,488	756,174	526,026	527,223	533,844	510,689									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.2	0.2	1.0	1.3	1.0									

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 284

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設管理費(委託)	49	施設	142,928
		施設修繕費	49	施設	38,701
		光熱水費	49	施設	73,044
		その他()			37,255
(2)事業実績	設備保守管理契約及び施設修繕や机・イスなどの備品類の計画的な購入を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せが相次いでおり、各方面から注目されています。児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、外壁の汚れ、屋上防水の劣化による漏水、床材や内壁の剥離、設備面では排水管の詰まりによる悪臭、冷房設備の不足といった不具合が生じており、それらに対する苦情・指摘等を受けています。また、障害児の利用しやすい環境整備も求められています。
	今後の予測	センターの施設管理費は、経年劣化に伴い、通常の施設管理費に加えて修繕費が増加しています。運営についても中高生の安全な居場所確保の重要性は増えています。また、児童館は順次古い館からの建替え若しくは大規模修繕が必要と考えています。更に、多様化する区民ニーズに対応できる環境整備が必要となっています。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻く様々な危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要です。また中高生の居場所、活動拠点が求められる中、センター・児童館の存在価値は高いものと考えています。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	施設、設備の老朽化により多くの箇所で大不具合が生じています。
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	設置から30年以上経っている施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者のニーズにあった施設の建替えや改修が必要です。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切と考えています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	施設の老朽化に伴い維持経費が増加しています。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(3)へ
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	学童クラブ入会希望児童数の増加や、児童館事業の協働の推進などによる業務の委託化などにより、既存施設を改修する必要が生じた結果、施設改修経費が増加しました。今後も、学童クラブの入会需要は増加傾向にあるため、施設の老朽化対応と合わせ、施設改修経費が増えることが予想されます。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ● 現状維持 ○ 減 コスト: ● 増 ○ 現状維持 ○ 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 障害児、乳幼児親子の利用しやすい環境整備を目標とし、空調機を設置(18年度:4館 19年度:5館 20年度:2館)するとともに各室の整備を行った。21年度以降も計画的に設置、整備していく予定である。また、学童クラブの登録児童数の増加に伴う育成室の改修も必要となる。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうするかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 建築年数の古い児童館は、障害児・乳幼児親子のための施設づくりがなされていないため、今後既成の施設の中で整備を進める形となる。施設全体が狭く、老朽化する中での整備であるため使用が少ない部屋を積極的に他室と兼用し、空いた部屋を効率的・計画的に改修する必要がある。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 施設の改修が比較的大規模になるため、予算措置・児童館の休館(学童クラブの代替施設探し)・部屋の兼用が難しく拡張ができない等の問題がある。早期に個別の館ごとに、施設のあり方についてさまざまな観点から詳細に検討し実行していく必要がある。
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性 ● 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ○ 予算なし
(2)理由 施設の老朽化に伴い、維持経費が増える傾向にある。また、学童クラブの登録制による利用増や、乳幼児親子・障害児の利用しやすい施設の整備に伴い、育成室の拡張や空調機の設置が必要となってきている。そのため、建替えを含めた長期的な計画が必要となる。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	成田学童クラブの整備			款	4	項	2	目	3	事業	3	整理番号	288						
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	枝番号							
上位施策No・施策名	28 子どもの育成環境の整備			予算事業区分				投資事業 新規事業											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	4	事業コード	18	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			施設管理	根拠法令等	(1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例												
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	学区外にあった成田学童クラブを学校内余裕教室へ移設し、学区内での学童クラブの運営を実施する。			活動指標名(式)	(1) 成田学童クラブ入会児童数 (2)													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	学区外学童クラブ解消のため、成田学童クラブの建設を行う。			成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1)	成田入会希望児童の入会率												
		算定式・指標の説明等																	
		成果指標名(2)																	
		算定式・指標の説明等																	
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%								
		実績	計画	実績	計画	実績													
指標	活動指標(1)	人				32	34				106.3								
	活動指標(2)																		
	成果指標(1)	%				100	100				100.0								
	成果指標(2)																		
総事業費・コスト把握	事業費	千円				11,530	11,376		20年度予算執行率% 98.7										
	(内)投資的経費等	千円				11,530	11,376		特記事項										
	(内)委託費	千円				10,000	9,870												
	職員数(常勤 非常勤)	人				0.08	0.08												
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	724	724	0										
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0										
	総事業費 + +	千円	0	0	0	12,254	12,100	0											
	単位あたりコスト (-) ÷	円				22,625	21,294												
	財源	受益者負担分	千円																
		国からの補助金等	千円																
		都からの補助金等	千円					4,602											
その他の補助金等		千円																	
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	4,602	0											
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	12,254	7,498	0											
受益者負担比率 ÷	%				0.0	0.0													

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 288

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		改修工事	1	所	9,870
	その他(備品・消耗品購入費)				1,506
(2)事業実績	東田小学校内に101.25㎡(特別教室1室)の学童クラブを整備しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	成田児童館内の学童クラブは、東田小学校に通う学童を主な対象として受け入れていたが、設置場所が、東田小学校の学区外にありました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護者からは、学校から離れた場所にある学童クラブについては、学校内へ移転して欲しい。職員は子どもたちに丁寧に対応して欲しい。利用時間を延長して欲しいなど、安全・安心面からの要望が多く寄せられています。
	今後の予測	

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、放課後の児童を安心して預けられる場所としての学童クラブ需要は年々増加傾向にあります。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きいものがあります。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、学校内の余裕教室を利用することにより移動も少なく、区民が安心して預けることの出来る施設の整備が来ています。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	施設の整備に関しては、受益者が負担の考え方はそぐわないものと考えています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	施設整備については、安全面、衛生面において必要で十分な設備にする必要があります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	学校内学童クラブを設置することによって、児童の安全確保が図られました。また、保護者の要望に広く応えることができ、若干入会児童数が増えました。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減	コスト: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成21年4月1日に開設するため、施設整備を行いました。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法		
22年度方針	(1)22年度予算見積の方向性	○ 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ● 予算なし
	(2)理由 施設整備が終了し、東田小学校内に平成21年4月1日に開設しました。	

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	(仮称)成田西第二学童クラブの整備				款	4	項	2	目	3	事業	4	整理番号	289						
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	枝番号								
上位施策No・施策名	28 子どもの育成環境の整備							予算事業区分	投資事業 新規事業											
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	4	事業コード	18	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理				施設管理	根拠法令等 (1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例													
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	学校内余裕教室へ学童クラブを設置し、入会需要の増加に対応する。				活動指標名(式)	(1) 成田西学童クラブ入会児童数 (2)													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	該当地域の入会需要増に対応するため、成田西第二学童クラブの建設を行う。				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1) 成田西学童クラブ入会希望児童の入会率 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等													
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%								
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	22年度										
指標	活動指標(1)	人					103	96					93.2							
	活動指標(2)																			
	成果指標(1)	%					100	100					100.0							
	成果指標(2)																			
総事業費・コスト把握	事業費	千円					12,621	11,694		20年度予算執行率%		92.7								
	(内)投資的経費等	千円					12,621	11,694		特記事項										
	(内)委託費	千円					10,000	9,335												
	職員数(常勤 非常勤)	人					0.08	0.08												
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	724	724	0											
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0											
	総事業費 + +	千円	0	0	0	13,345	12,418	0												
	単位あたりコスト (-) ÷	円					7,029	7,542												
	財源	受益者負担分	千円																	
		国からの補助金等	千円																	
		都からの補助金等	千円	/	/	/			4,731											
		その他の補助金等	千円	/	/	/														
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	4,731	0												
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	13,345	7,687	0												
受益者負担比率 ÷	%					0.0	0.0													

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 289

20年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費(千円)
		改修工事	1	所
(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	その他(備品・消耗品購入費)			2,359
	(2)事業実績 杉並第二小学校内に144.5㎡(特別教室2室、倉庫1ヶ所)の学童クラブを整備しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童数について、ほぼ変化がないにもかかわらず、学童クラブ入会希望者数及び入会者数は、増加傾向にあります。このため、第二学童クラブの設置、施設改修による定員増及び学童クラブ登録制を実施しました。入会希望者の多い一部の学童クラブは、施設の規模ぎりぎりの受入状態が続いており、既存の施設を利用した学童クラブの実施が困難になっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保護者からは、学校から離れた場所にある学童クラブについては、学校内へ移転して欲しい。職員は子どもたちに丁寧に対応して欲しい。利用時間を延長して欲しいなど、安全・安心面からの要望が多く寄せられています。
	今後の予測	

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	共働き等により留守家庭となる児童の増加に伴い、放課後の児童を安心して預けられる場所としての学童クラブ需要は年々増加傾向にあります。このことから児童の安全確保・健全育成を担う学童クラブへの期待と役割は大きいものがあります。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、学校内の余裕教室を利用することにより移動も少なく、区民が安心して預けることの出来る施設の整備が来ています。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	施設の整備に関しては、受益者が負担の考え方はそぐわないものと考えています。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	施設整備については、安全面、衛生面において必要で十分な設備にする必要があります。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進

評価と課題	平成21年度の学童クラブ登録数(入会数)は、成田西64人・成田西第二学童クラブ42人で、当学童クラブを設置することによって当該地域の学童クラブ入会需要に対応することが出来ました。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	○ 増	○ 現状維持	● 減	コスト:	○ 増	○ 現状維持	● 減	
	(1) 前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成21年4月1日に開設するため、施設整備を行いました。							
	(2) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入							
	(3) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
22年度方針	(1) 22年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	○ 大幅減	● 予算なし		
	(2) 理由	施設整備が終了し、杉並第二小学校内に平成21年4月1日に開設しました。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	児童館の耐震改修			款	4	項	2	目	3	事業	9	整理番号	292
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	枝番号	
上位施策No・施策名	28 子どもの育成環境の整備							予算事業区分	投資事業 新規事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 施設管理						根拠法令等	(1) 児童福祉法第45条 (2) 区立施設の耐震化整備プログラム				
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	施設の耐震診断を行い、安全に施設を利用できるようにします。						活動指標名(式)	(1) 耐震診断が必要な児童館 (2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	耐震診断が必要な3児童館について、診断を行い必要な場合は耐震工事を行う。						成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標	成果指標名(1)	診断実施児童館			
		算定式・指標の説明等											
		成果指標名(2)											
		算定式・指標の説明等											
区分	単位	18年度		19年度		20年度		21年度計画	目標値22年度	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画						
指標	活動指標(1)	館				3	3				100.0		
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	館				3	3				100.0		
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費	千円				2,896	2,856		20年度予算執行率% 98.6				
	(内)投資的経費等	千円							特記事項				
	(内)委託費	千円				2,487	2,447						
	職員数(常勤 非常勤)	人					0.01 0.00	0.01 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	千円	0	0	0	91	91	0				
		(内)非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	0	0	0	2,987	2,947	0					
	単位あたりコスト (-) ÷	円				995,667	982,333						
	財源	受益者負担分	千円				0	0					
		国からの補助金等	千円										
		都からの補助金等	千円				829	816					
		その他の補助金等	千円										
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	829	816	0					
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	2,158	2,131	0					
受益者負担比率 ÷	%				0.0	0.0							

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 292

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		本天沼児童館	1	所	827
		下高井戸児童館	1	所	1,620
		堀ノ内東児童館	1	所	409
		その他 ()			0
(2)事業実績	3施設について診断を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	耐震診断の基準の変更などに伴い、建設後約30年経過している児童館について今回調査しました。耐震診断を行うことにより安心して施設を利用することが出来るようになりました。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	耐震診断を行うことにより安心して施設を利用することが出来ました。			
	今後の予測	児童館は設置から30年以上経過しているものもあり、耐震の基準変更などにより診断の必要性が新たに出てくる可能性があります。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てができるまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要であり、そのための児童館の耐震診断は重要です。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	建物の安全性は耐震診断を行うことにより確認できるが、設備の老朽化による不具合については改修が必要となっています。 設置から30年以上たっている施設もあり、障害児や乳幼児親子への対応など、利用者のニーズにあった施設の建替えや改修が必要です。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	目的外利用者を除き、主たる施設利用者が18歳未満の児童であり、その目的からも受益者負担は不適切であると、考えます。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	必要な児童館のみが対象で、契約により行っているためコスト減は難しいと考えています。			
	協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)		
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	耐震診断の基準の変更などに伴い、建設後約30年経過している児童館について今回調査しました。耐震診断を行うことにより安全な施設を利用者に提供できています。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減	コスト: ○ 増 ○ 現状維持 ● 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 耐震診断の基準の変更に伴う診断であり、他の該当物件がないため予算は減額しています。	
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	○ 大幅増 ○ 増 ○ 増減なし ○ 減 ○ 大幅減 ● 予算なし
	(2)理由	耐震診断の基準の変更に伴う診断であり、他の該当物件がないため予算は減額しています。

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	高円寺南児童館の改修			款	4	項	2	目	3	事業	81	整理番号	295	
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	枝番号		
上位施策No・施策名	28 子どもの育成環境の整備			予算事業区分				投資事業 新規事業						
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			施設管理		根拠法令等 (1) 児童福祉法第45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例							
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標名(式)									
	施設の老朽化に伴い、安全かつ快適に利用できる施設とするための改修を行います。				(1) 設計数 (2)									
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標										
高円寺南児童館や小学校、営繕課など関連部署と調整				成果指標名(1) 設計数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等										
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%	
			実績	計画	実績	計画	実績	計画		22年度				
指標	活動指標(1)		施設					1	1				100.0	
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		施設					1	1				100.0	
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円					2,485	883	115,053	20年度予算執行率%		35.5	
	(内)投資的経費等		千円					2,267	883	111,533	特記事項			
	(内)委託費		千円					2,267	883	111,533				
	職員数(常勤 非常勤)		人					0.09	0.09	0.09				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	0	0	0	815	815	815				
		(内)非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	0	0	3,300	1,698	115,868					
	単位あたりコスト (-)÷		円					1,033,000	815,000					
	財源	受益者負担分		千円										
		国からの補助金等		千円										
		都からの補助金等		千円	/	/	/							
その他の補助金等		千円	/	/	/									
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	3,300	1,698	115,868						
受益者負担比率 ÷		%					0.0	0.0	0.0					

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 295

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
20年度の事業実施状況	(1)主な取組み	高円寺南児童館改修設計委託費	1	件	883
	(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目				
	その他()				0
	(2)事業実績	高円寺南児童館(高円寺保健センター併設)の大規模な改修に先立ち、利用しやすい施設のための設計委託を行いました。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	建築後30年近くが経過し、給排水・外装など老朽化が著しく改修の寄せられる期待は高いものと考えています。			
	今後の予測	給排水・外装など老朽化が著しい箇所の改修をすることにより、安全に施設を利用することが可能である。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	左の理由または具体的内容 少子化や遊び場の減少、また、子どもたちを取り巻くさまざまな危険が発生している現在、区民が安心して子育てが出来るまちづくりには、安心して遊べる場所、気軽な相談窓口が必要である。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	老朽化している該当施設の給排水・外装などの修繕のため、次年度以降のメンテナンスコストの抑制が可能である。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	施設の改修に要する経費の支出であるため受益者負担はなじまないと考えます。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	改修設計のための委託であるため契約を通じており、コスト減は難しいと考えます。			
	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進				
評価と課題	改修に向けた設計が完了しました。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	20年度設計委託 21年度改修工事施行(21年3月改修工事完了予定)							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法								
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input checked="" type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	平成21年3月に改修工事が完了する予定のため、22年の予算はかからないと考えています。							

平成21年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		未成年者の飲酒・喫煙・薬物乱用の防止						款	4	項	5	目	1	事業	22	整理番号	321		
担当部課名		杉並保健所健康推進課						係名	健康推進係			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	400		枝番号	
上位施策No・施策名		28 子どもの育成環境の整備						予算事業区分											
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	17	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等 (1) 健康増進法第25条 (2) 杉並区における喫煙対策指針						
	喫煙防止施策		主に未成年者とその保護者・関係者																
	飲酒・薬物乱用防止対策		主に未成年者とその保護者・関係者																
事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		未成年者・保護者および関係者に対して、飲酒・喫煙・薬物乱用防止の普及・啓発を行い、未成年者が飲酒・喫煙をしない。また、薬物に対する規範意識が高まる。																	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		<p>小学5年生から中学3年生に対し、喫煙防止標語・ポスターを募集し、優秀作品を表彰する。 未成年者喫煙防止ポスターを作成し、関係者及び施設に配布、掲示する。 飲酒・薬物乱用防止講演会を開催する。 学校・保健センター等への教材配布 飲酒・喫煙防止普及啓発用品の作成、配布</p>																	
活動指標名(式)		<p>(1) 未成年者の喫煙防止ポスター・標語の応募数 (2) 講演会参加者数</p>																	
成果指標 (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		<p>成果指標名(1) 中学生の喫煙経験がある割合 算定式・指標の説明等 中学生の飲酒・喫煙経験調査(隔年ごと) 成果指標名(2) 中学生の飲酒経験がある割合 算定式・指標の説明等 中学生の飲酒・喫煙経験調査(隔年ごと)</p>																	
区分		単位	18年度		19年度		20年度		21年度		目標値	目標値に対する20年度の達成率%	計画に対する20年度の達成率%						
			実績		計画		実績		計画		22年度								
指標	活動指標(1)		点	271	270	534	500	504	500	500	500	100.8	100.8						
	活動指標(2)		%	370	150	179	150	154	150	150	150	102.7	102.7						
	成果指標(1)		%	0	8	6	0	6	4	0									
	成果指標(2)		%	0	41	42	0	42	30	0									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,267	1,303	1,108	849	796	1,895	20年度予算執行率%			93.8						
	(内)投資的経費等		千円	0	0	0				特記事項									
	(内)委託費		千円	0	0	0	96	83	132										
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.50 0.25	0.40 0.05	0.34 0.10	0.34 0.10	0.34 0.20	0.12 0.40										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		千円	4,530	3,656	3,108	3,077	3,077	1,086									
		(内)非常勤職員分		千円	708	139	277	280	560	1,120									
	総事業費 + +		千円	7,505	5,098	4,493	4,206	4,433	4,101										
	単位あたりコスト (-) ÷		円	27,694	18,881	8,414	8,412	8,796	8,202										
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0												
		国からの補助金等		千円	0	0	0												
		都からの補助金等		千円															
その他の補助金等		千円																	
特定財源計 + + +		千円	0	0	0	0	0	0											
差引:一般財源 -		千円	7,505	5,098	4,493	4,206	4,433	4,101											
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

18年度、19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

平成21年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 321

20年度の事業実施状況	(1)主な取組み (執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		喫煙防止対策(ポスター・標語募集・ポスター作成)	36850	枚	400
	飲酒・薬物乱用防止対策(普及啓発用品・教材・講演会)	13000	個	396	
	その他()			0	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	未成年者への飲酒・喫煙対策については、対面販売等では年齢を確認するなど業界の自主規制がこの数年大きく進んできています。また、未成年者のタバコの購入を抑制するため、平成20年度から成人識別カードが導入されました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	19年度に実施した区内中学1、3年生を対象とした飲酒・喫煙・薬物に関する意識調査の結果から、喫煙経験率は平成17年度に比較すると低下しており、特に、1年から3年に進級する期間に喫煙の経験は、ほとんど増えていません。また、全国と比較しても喫煙率は低くなっています。
	今後の予測	今後、更に未成年者のタバコ・酒類の購入に関しては業界や地域でも規制が強化されると予測されます。しかし、一方では、以前に比較し薬物が身近で安易に手に入る状況があるため、今後とも地域全体で見守る環境づくりが必要となります。

事業のあり方点検	左の理由または具体的内容	
	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	児童・生徒・保護者および学校関係者に対し普及・啓発を行うことで、未成年の飲酒・喫煙・薬物乱用防止に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	学校関係者と連携し、生徒・保護者・関係者に対し、防煙に対する知識の普及を促進する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	区民に対する普及・啓発事業のため受益者負担になじまない。
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	現在のところ受益者負担や実施方法の変更がないため難しい。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続

評価と課題	未成年者の喫煙に関しては、タスポカードの導入等業界規制も進み、喫煙防止教育の実施やポスター・標語の募集等を通し普及啓発を図ることで、中学生の喫煙経験率は5.7%と非常に低く、効果が上がっています。しかし、飲酒経験は17年度調査と比較すると減少していますが、まだ41.7%の中学生に経験があります。飲酒は周囲の大人から勧められることも多いため、地域全体の普及・啓発や関係者の連携を図る必要があります。
-------	---

改善・見直しの方向(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(21年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記) 平成19年度から未成年者の飲酒・喫煙キャンペーンを実施してきましたが、21年度から新規に予算計上しました。
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 喫煙経験・飲酒経験とも順調に減少してきているため、現在の事業を継続します。
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法
22年度方針	(1)22年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2)理 由 喫煙経験・飲酒経験とも順調に減少してきているため、現在の事業を継続します。